

(別添)

2023年10月26日

N I T E (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中 部 支 所

News Release



シーズン初めの石油ストーブ安全大作戦 ～5つのポイントで火災事故を防ごう！～ (東海4県版)

NITE(ナイト)が収集した石油ストーブ及び石油ファンヒーター(以下、石油ストーブ等)による事故情報^{※1}は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2018年度～2022年度^{※2}までに合計31件あり、被害状況は死亡6件(19%)、軽傷5件(16%)、拡大被害16件(52%)、製品破損4件(13%)となっています。そのうち30件(97%)が火災に至っています。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。
- (※2) 2018年4月1日～2023年3月31日に発生した事故を対象とします。

1. 石油ストーブ等による製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1に石油ストーブ等による製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 石油ストーブ等「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)^{※3}

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2018年度	1 (1)	1 (1)	0	2 (2)	4 (4)
2019年度	2 (2)	6 (6)	2 (2)	0	10 (10)
2020年度	1 (1)	4 (4)	0	1	6 (5)
2021年度	0	5 (5)	2 (2)	0	7 (7)
2022年度	0	3 (3)	1 (1)	0	4 (4)
合計	4 (4)	19 (19)	5 (5)	3 (2)	31 (30)

(※3) ()は火災件数。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に石油ストーブ等による製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※4}」の事故発生件数を示します。

表 2 石油ストーブ等「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※3}

被害状況 ^{※4}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	1 (1)	3 (3)	2 (2)	0	6 (6)
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	2 (2)	2 (2)	1 (1)	5 (5)
物的被害	拡大被害	2 (2)	13 (13)	0	1 (1)	16 (16)
	製品破損	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1	4 (3)
合計		4 (4)	19 (19)	5 (5)	3 (2)	31 (30)

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている

(3) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

図 1 に石油ストーブ等による製品事故の発生月別の「発生件数」、「火災件数」及び「死亡件数」の事故発生件数を示します。

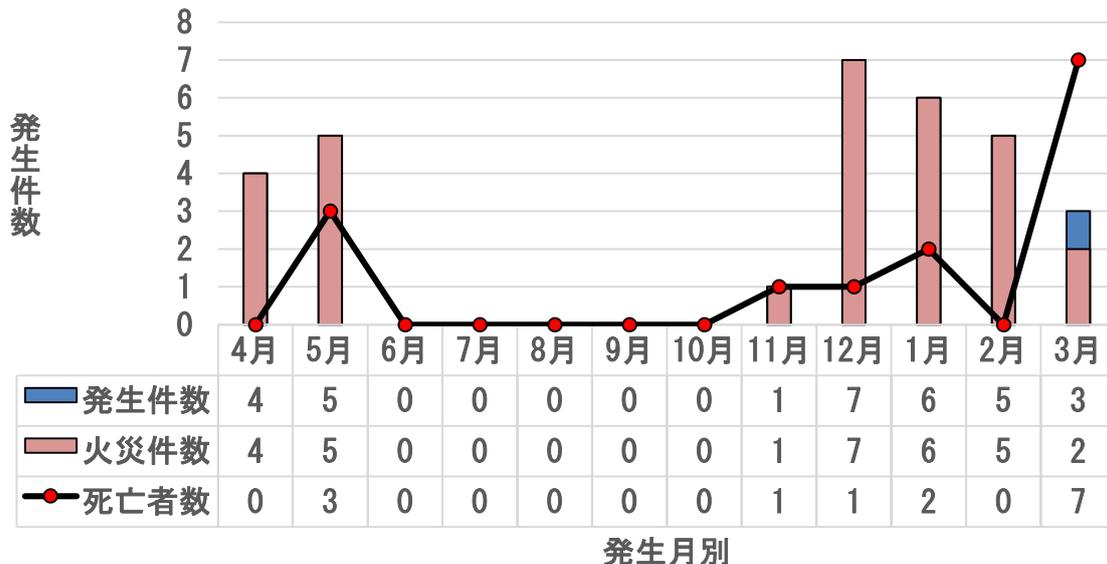


図 1 石油ストーブ等「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

※ 毎年11月頃から石油ストーブ等の事故が多く発生していますので注意してください。

(4) 東海 4 県の事象別の被害件数

表3 にNITEに通知のあった2018年度から2022年度に発生した石油ストーブ等の事故 31 件のうち、誤使用・不注意による事故 12 件における「事象別の被害件数」を示します。

事故の多い「給油口からの灯油漏れ」、「ガソリンの誤給油」及び「可燃物の接触」は、事故が発生した場合、大きな火災に至るおそれがあるため、特に注意が必要です。

表3 誤使用・不注意による事故における事象別の被害件数

事象	拡大被害	製品破損	合計
ガソリンの誤給油により出火	4	0	4
掃除不足による異常燃焼や堆積物への引火	2	1	3
可燃物が放射熱で過熱又は接触して出火	1	1	2
修理不良で漏れた灯油に引火	1	0	1
灯油の拭き残しに引火	0	1	1
風が当たり異常燃焼	0	1	1
合計	8	4	12

3. 石油ストーブ等による製品事故の事故事例**○ガソリンの誤給油により出火**

2021 年 12 月（愛知県、80 歳以上・男性、拡大被害）

【事故内容】

使用中の石油ストーブから異音が生じ、置台付近から火が出て、周辺を焼損した。

【事故原因】

石油ストーブのカートリッジタンク等からガソリンが検出されたことから、使用者がガソリンを誤給油したため、使用中に置台に燃料が漏れ出し、引火して火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書及びカートリッジタンクには、「ガソリンの使用禁止」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】石油ストーブ、ガソリン、給油

○可燃物が放射熱で過熱又は接触して出火

2020 年 12 月（愛知県、70 歳代・男性、拡大被害）

【事故内容】

石油ストーブ及び建物を全焼する火災が発生した。

【事故原因】

石油ストーブに出火の痕跡は認められないことから、天板上に誤ってステンレスポットを置いたため、ステンレスポット底面の樹脂が焼損し、出火に至ったものと推定される。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】石油ストーブ、誤って、焼損、出火

4. 石油ストーブ等による製品事故の実験映像について

石油ストーブ等による製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ “nite”」としてください。

事故品・事例を確認

一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者：横山、横田

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902